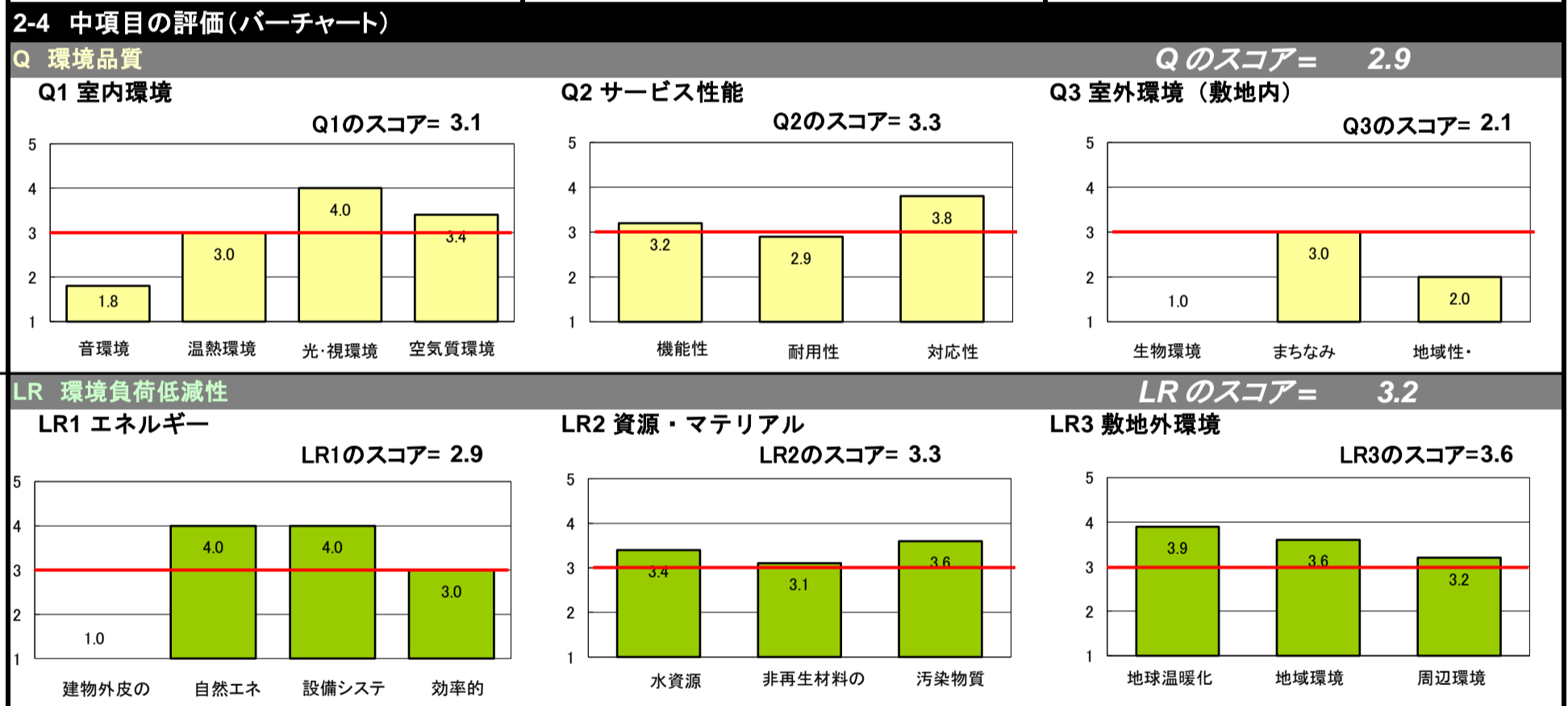
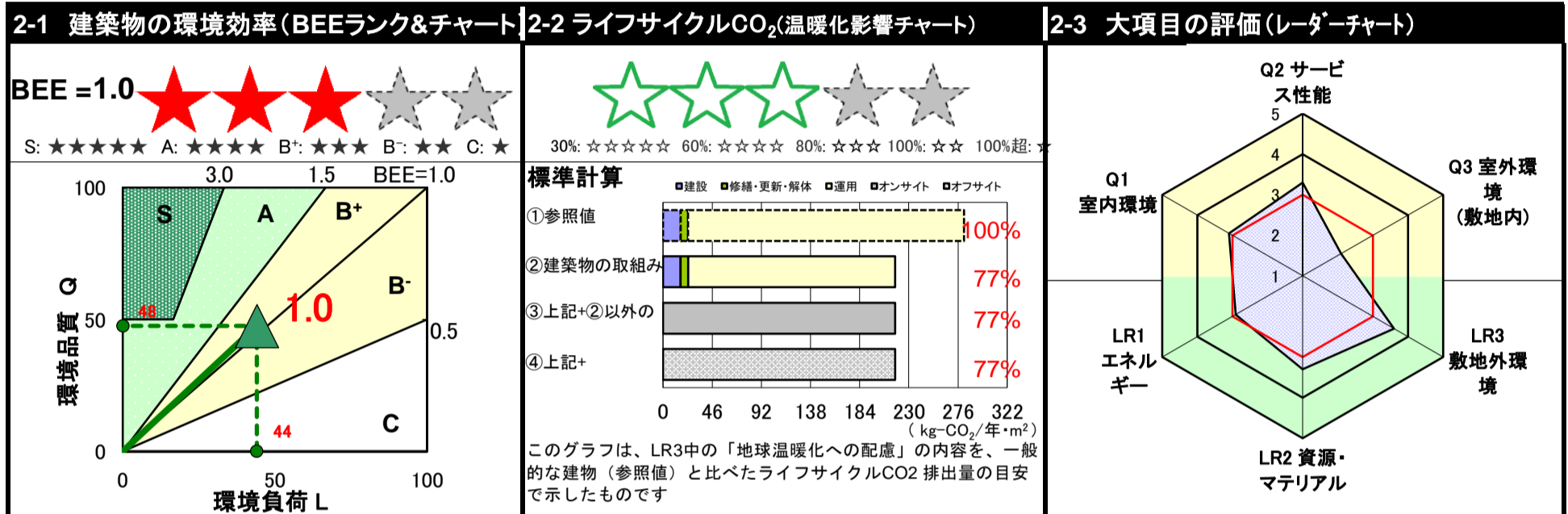


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)DCMカーマ岡崎駅南店	階数	地下0階地上1階
建設地	愛知県岡崎市 岡崎駅南土地区画整理事業地内 53街区 4ロット(保留地)	構造	S造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	100人
気候区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2022年10月 予定	評価の実施日	2021年12月3日
敷地面積	20,000 m ²	作成者	此嶋 尚志
建築面積	10,087 m ²	確認日	2021年12月3日
延床面積	9,935 m ²	確認者	此嶋 尚志



3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p>3.9</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p>1.0</p> <table border="1"> <tr> <td>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</td> <td>12.7 %</td> </tr> <tr> <td>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</td> <td>8.4 %</td> </tr> </table>	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	12.7 %	建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	8.4 %
外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	12.7 %				
建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	8.4 %				
<h4>②資源の有効活用</h4> <p>3.2</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p>1.0</p> <table border="1"> <tr> <td><外装材に使用した地域性のある材料></td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></td> <td>なし</td> </tr> </table>	<外装材に使用した地域性のある材料>	なし	<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>	なし
<外装材に使用した地域性のある材料>	なし				
<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>	なし				

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄			建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
		評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										2.9
Q1 室内環境										3.1
1 音環境				0.1	1.8	0.15	-	-	-	1.8
1.1 室内騒音レベル				3.0	3.0	0.40	-	-	3.0	-
1.2 遮音				0.4	1.0	0.40	-	-	-	-
1 開口部遮音性能				-	1.0	1.00	-	-	3.0	-
2 界壁遮音性能				-	-	-	-	-	3.0	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	-	3.0	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	-	3.0	-
1.3 吸音				-	1.0	0.20	-	-	3.0	-
2 温熱環境				0.3	3.0	0.35	-	-	-	3.0
2.1 室温制御				0.5	3.0	0.50	-	-	-	-
1 室温				3.0	3.0	0.50	-	-	3.0	-
2 外皮性能				3.0	3.0	0.17	-	-	3.0	-
3 ゾーン別制御性				3.0	3.0	0.33	-	-	-	-
2.2 湿度制御				3.0	3.0	0.20	-	-	3.0	-
2.3 空調方式				3.0	3.0	0.30	-	-	3.0	-
3 光・視環境				0.2	4.0	0.25	-	-	-	4.0
3.1 昼光利用				0.5	5.0	0.50	-	-	-	-
1 昼光率				3.0	-	-	-	-	3.0	-
2 方位別開口				-	-	-	-	-	-	-
3 昼光利用設備				3.0	5.0	1.00	-	-	3.0	-
3.2 グレア対策				-	-	-	-	-	-	-
1 昼光制御				5.0	-	-	-	-	3.0	-
3.3 照度				3.0	-	-	-	-	3.0	-
3.4 照明制御				3.0	3.0	0.50	-	-	3.0	-
4 空気質環境				0.2	3.4	0.25	-	-	-	3.4
4.1 発生源対策				0.5	4.0	0.50	-	-	-	-
1 化学汚染物質				3.0	4.0	1.00	-	-	3.0	-
4.2 換気				0.3	2.0	0.30	-	-	-	-
1 換気量				3.0	3.0	0.50	-	-	3.0	-
2 自然換気性能				3.0	-	-	-	-	3.0	-
3 取り入れ外気への配慮				3.0	1.0	0.50	-	-	3.0	-
4.3 運用管理				0.2	4.0	0.20	-	-	-	-
1 CO ₂ の監視				3.0	3.0	0.50	-	-	-	-
2 喫煙の制御				3.0	5.0	0.50	-	-	-	-
Q2 サービス性能						0.30	-	-	-	3.3
1 機能性				0.4	3.2	0.40	-	-	-	3.2
1.1 機能性・使いやすさ				0.4	3.0	0.40	-	-	-	-
1 広さ・収納性				3.0	-	-	-	-	3.0	-
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	-	-	-	3.0	-
3 バリアフリー計画				3.0	3.0	1.00	-	-	-	-
1.2 心理性・快適性				0.3	3.3	0.30	-	-	-	-
1 広さ感・景観(天井高)				3.0	5.0	0.33	-	-	3.0	-
2 リフレッシュスペース				3.0	4.0	0.33	-	-	-	-
3 内装計画				3.0	1.0	0.33	-	-	-	-
1.3 維持管理				0.3	3.5	0.30	-	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計				3.0	4.0	0.50	-	-	-	-
2 維持管理用機能の確保				-	3.0	0.50	-	-	-	-
2 耐用性・信頼性				0.3	2.9	0.31	-	-	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				0.4	3.0	0.48	-	-	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	3.0	0.80	-	-	-	-
2 免震・制震・制振性能				3.0	3.0	0.20	-	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				0.3	3.0	0.33	-	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数				-	3.0	0.23	-	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				-	3.0	0.23	-	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				-	3.0	0.09	-	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				-	3.0	0.08	-	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				-	5.0	0.15	-	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔				-	2.0	0.23	-	-	-	-
2.4 信頼性				0.1	2.8	0.19	-	-	-	-
1 空調・換気設備				3.0	3.0	0.20	-	-	-	-
2 給排水・衛生設備				3.0	2.0	0.20	-	-	-	-
3 電気設備				3.0	3.0	0.20	-	-	-	-
4 機械・配管支持方法				3.0	3.0	0.20	-	-	-	-
5 通信・情報設備				3.0	3.0	0.20	-	-	-	-

3 対応性・更新性			0.2	3.8	0.29	-	-	-	3.8
3.1 空間のゆとり			0.3	5.0	0.31	-	-	-	
1	階高のゆとり		-	5.0	0.60	-	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	5.0	0.40	-	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	3.0	0.31	-	3.0	-	
3.3 設備の更新性			0.3	3.6	0.38	-	-	-	
1	空調配管の更新性	②	-	3.0	0.17	-	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	3.0	0.17	-	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	5.0	0.11	-	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	5.0	0.11	-	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	3.0	0.22	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	4.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	-	0.30	-	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出		独自③	-	1.0	0.30	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④	-	3.0	0.40	-	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			0.3	2.0	0.30	-	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④	-	2.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			-	2.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	-	0.40	-	-	-	2.9
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=1.07	3.0	1.0	0.30	-	-	1.0
2 自然エネルギー利用			天窓(トップライト)の設置	3.0	4.0	0.20	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化			BEI=0.75	3.0	4.0	0.30	-	-	4.0
4 効率的運用				0.2	3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				1.0	3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング			3.0	3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制			3.0	3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	
4.1	モニタリング			-	3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制			-	3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	-	0.30	-	-	-	3.3
1 水資源保護			0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4
1.1 節水			擬音装置・節水型便器の採用	3.0	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			0.6	3.1	0.63	-	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減			-	2.0	0.07	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	3.0	0.25	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	-	3.0	0.21	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	クラッシャーランRC-40: 駐車場	3.0	3.0	0.21	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	S造乾式工法で分別が容易、壁内配管により設備との錯綜回避	3.0	4.0	0.25	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			0.2	3.6	0.22	-	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	3.0	0.32	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			0.6	4.0	0.68	-	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		-	5.0	0.50	-	-	-	
3	冷媒		3.0	3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境			-	-	0.30	-	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2排出率77%	-	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			0.3	3.6	0.33	-	-	-	3.6
2.1 大気汚染防止			燃焼機器を使用していない	-	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				-	3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			0.2	3.5	0.25	-	-	-	
1	雨水排水負荷低減	独自		-	3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制			-	3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	独自	敷地内に駐車場を配置、監視車両の駐車場を配置等評価ポイント4	-	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制			-	3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			0.3	3.2	0.33	-	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1	騒音	独自		-	3.0	1.00	-	-	
2	振動	独自		-	-	-	-	-	
3	悪臭			-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1	風害の抑制			-	3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制			-	1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制			-	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			0.2	4.4	0.20	-	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			-	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	3.0	0.30	-	-	

重点項目(配慮項目)	評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策			3.9
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.9	0.10
② 資源の有効活用			3.2
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.09
Q2-3	対応性・更新性	3.8	0.09
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.1	0.19
③ 敷地内の緑化			1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09
			外構緑化:12.7%/建物緑化:8.4%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-
			なし
			なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)DCMカーマ岡崎駅南店

計画上の配慮事項	
総合	注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 商業施設である用途であるため、経済性に配慮しつつ、物販店舗として空間・売場環境・省エネルギーに配慮した。
Q1 室内環境	注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 施設内の快適性を確保するために、空気室環境(F☆☆☆☆建材の全面的な採用)の向上に努めており、全館禁煙にするなどの配慮をしている。
Q2 サービス性能	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 売場の天井高を3.6m以上(4.5m)とし心理性・快適性に配慮した。内外装共、防汚性に配慮した材料を使用するなど、維持管理にも配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 高温排熱の放出部を設置しない。屋根掛売場を設けて日影の形成を図っている。 メインの道路から死角になる外壁に、防犯灯設置等により防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー	注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 LED照明を採用し設備の高効率化に配慮した。
LR2 資源・マテリアル	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 節水型器具(擬音装置、自動センサー小便器)の採用。 省資源への貢献として、建材再利用性(乾式工法による解体時の資源分別容易性)に配慮している。
LR3 敷地外環境	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 燃焼器具を採用しておらず、外部空間に対して大気汚染物質を全く発生しない。 敷地への乗入口を歩行者、お客様用、配送用に分け渋滞緩和に寄与し、地域インフラへの負担抑制(駐車場の確保)に配慮している。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。